[PI	AN.	事務事業の	の詩	 画		事務事業都	香号	1							所是	禹部課名	市	民生活	部環境	保全課
		7 127 7 714						評価区分	·}		蔣事業性質		政	策的事業	後期基	本計画	補		听管省 /	
:	事務	事業名	環	境基本計画	推進	事業		評価事業	素		[要事務事業			0		視点	助単	市単独		
		.l bib									計画実施計	一画		0	健康都	市づくり	独	111 +12		
総	政	政策		自然と共生した					:境〕		新規·継続	-	J. F	継続			区	補助率		
合計	策体		3	自然環境に環境保全・な			仕会を	つくります		事業	開始年度	Ē	於	个了年度			分			
	孫	施策 小施策	1	環境保全・2 自然環境の						期間	平成20年月	度	平	成29年度	共催者	·関係	団体			
		会計	1	款	木 <u>-</u>	<u>E</u> 項				7	細目名		即]連計画	笠 問市	環境基	木 計	- 画i		
貨	´ 	一般		衛生費	保	:健衛生費	環境	五 五衛生費	環境		本計画推進事	業		· 提加法令	77 H1 11	2K7E2E	/T*III	Щ		
ま ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる まま	- 斗	///		m±X	PT	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	21(2)	211127	2112		1 h1 11 11 12 1	. >/C	12	実施手法	 	甫助金∅)有無	無 1	負担金0	7有無
E														直営		_			_	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
				既要及び背景							業務内容及								内容(決	:算額)】
				を実現するため)達/	戊に	向け, 各課等	等がる	それ			中報	賞費	50,00	0円	
将来に向って良好な環境形成に関する れの施策を推進する。 心に施策を展開 常用費 176,244円																				
取組を総合的かつ計画的に推進する。 委託料 150,000円																				
使用料 15,000円 原材料費 49,998円																				
	原材料費 49,998円																			
						手上古来 <i>*</i>	H25事		\±-	4	重	H26	事	業計画		壬上市	- 	127事業	計画	1 1 m 0
								環境目標の			里								こ環境目 果等がる	
						推進する。	11人47	CAU CAU0)	ne x	. ~_								推進す		- A U C
						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										, , , , , , ,	.,,,	- 1,m. —)		
5	事務	事業の目的	りと	手段																単位
	文(1)	· 计象				60						4		一般市民						人
目	(働	きかける相手	手•	もの)		一般市民						対象 指標								
的						市民·事業者	そ及び市	が連集し、批	地の	曲ヵ	か白鉄を	(5)	示 .	施策数						施策
н	②事務事業の意図(どのようにしたい)後世に											成界		7E7K 3A						ne/k
Vone 20 V O 小 態 (C U C V V V V V V V V V V V V V V V V V																				
T.									. + .	JIZ.		6		実施事業数	文					事業
手段				ために実際	に	環境基本計 推進事業な						活重	助 -							
FX	行っ	た行政活動	動([·]	サービス)		正世尹末な	□ 里示10	7 7K Z 1 / L	(二万巴)	NK.C.	120 (717)	指標	票							
	0]事	務事業の	実が	ti,																
_		及び指標の																		
H					07.11		/ />	00 F F (F						(=1 	는 분 /크I	T) 05		/ = 1 \	00 Fr F	- (=1)

			尹未り天旭															
事	業費		指標の推移		1		1								,		1	
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	ま(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事	源内	地方債	千円														
コ	事業費	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円		557		373		441		523		560		560		560
(事業費計(ア)	千円		557		373		441		523		560		560		560
イ			職員割合	人 千円	0.91	6,825	0.70	5,250	0.70	5,250	0.70	5,250	0.70	5,250	0.70	5,250	0.70	5,250
ンプ	人		時間外	千円				·								ļ.		
ッツ	件		嘱託臨時	千円														
7	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		6,825		5,250		5,250		5,250		5,250		5,250		5,250
	}-	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円		7,382		5,623		5,691		5,773		5,810		5,810		5,810
		扌		単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	E(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	実加	包事:	業数	事業		255		255		255		255		255		255		255
動																		
動指																		
標																		
対	—	设市.	民	人	7	9,409		78,862		78,279		78,279		78,279		78,279		78,279
対象指																		
標																		
成果指標	施第			施策		172		172		172		172		172		172		172
果地																		
標																		
1/41																		

社会情勢の変化・事務事業を取り巻		1.及び社会環境	色の変化(開始時期)	又は5年前との比	較)・市民からの意見や要望》
【CHECK】事務事業 ①行政関与の		nけて. 行政の値	節囲は行政の役割が	いら見て適切か?	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
N .					いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性 評 価 見直しの余			平成29年度までの 実施していくことか		において基本となるものであり、この計画に沿って事業を
 					でなる成果向上ができるか?》
効しの成大の仮及	効果《全市民,または多	くの市氏や他の	の施策への波及効果	そかあるか?》	
性 図 向上の余5 価 □ 向上の余5			各課が計画に沿っ	てそれぞれの事	業を実施し,成果をあげている。
					直し、市民の協力など)》
半		すに人件費を削	滅できないか?(業	務プロセスの見直	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
□ 図 削減の余: □ 削減の余: □ □ 削減の余:			必要な予算の中で	事業を行っている	ることから削減の余地はない。
一次評価結果	<u></u>		全体総括(振り返り	, 反省点)	
_	適切 □ 見直しの	余地がある		<u>,</u>	
有効性 🔽	適切 □ 見直しの	余地がある	環境に関する基本	理念を実現する	ため,必要な施策であり計画的に推進する。
効率性 ☑	適切 見直しの	余地がある			
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の	課題や問題点	その他
①改革•改善案		③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
					□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
					⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動)
					も含む)
②改革・改善案を 課題と解決方法	実現する上で克服する	べき ④取組	l状況		□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
WINCE 071 10 07 121					名称
					□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している
					and the same of th
【PLAN】事務事業	の計画				
総合評価	今後の方向性	現行と	ごおり継続	環境に関する基 進める。	評価理由 本理念を実現するために必要な事業であり。継続して
15다 더 H I IIII	資源配分	現場	犬維 持		

[PI	LAN]	事務事業の	の計	一画		事務事業都	番号	2							所属	禹部課名	市	民生活語	邻環境保全課
								評価区分	分	事	務事業性質	重	政策	的事業	後期基	本計画		戸	斤管省庁
	事務	事業名	自	然エネルギー	-活	用助成事業	Ę	評価事業		重	医事務事業	É		0		視点	助	国補助	国土交通省
								計1川事月	R		計画実施計	十画		0	健康都	市づくり	単独	凹無別	四工义进有
総	政	政策		自然と共生した					境〕		新規·継続			迷続				補助率	50/100
合	策			自然環境に			社会を	つくります		事	開始年度	F S	終.	了年度			分	佃奶平	50/100
計	体	施策	1	環境保全・公						業期	平成22年月	由	교육	27年度	+ /煜 耂	·関係	刊什		
_	系	小施策	1	自然環境の	保全					間		吳		,					
=	予	会計		款		項		目			細目名			車計画	笠間市	環境基	本計	画	
貨	章	一般		衛生費	保	健衛生費	環境	衛生費	自然	エネノ	レギー活用助成署	事業		処法令					
	斗												美	施手法	有	前助金の)有無	氏 負	担金の有無
														直営		0			
				既要及び背景								び手	順)]		度目標】				內容(決算額)】
環境	竟基	本計画に基	づ	き, 環境負荷	の	住宅用太陽	易光発電	システム設	置費	補具					発電 14				0,656千円
				ーの有効利		住宅用エコ	キュート	設置費補助	切					件	1 44		コキコ	<u>-</u> ート 6,	,420千円
				いまちづくりを 建康で文化的										エコキ:	ュート 11	LU			
		こと、川氏の確保に寄			IJ									17					
\T.	上1日 い	グ唯体に可		y 🕠。															
							H25事	業計画				H26	事業	計画			Н	27事業	計画
						住宅用太陽			置費	計補					置費補	住宅用			システム設置
						助					助					費補助	i		
5	事務	事業の目的	勺と:	手段															単位
												4	太	陽光発電	電予算 額	Į			千円
	① 文 (新)		E.J	(1)		一般市民						対象	之	コキュー					千円
目	(制)で	きかける相手	⊢• €	507)								指標	票						
的	の車		· 🖾 (· ドのトシにしま	-1,3	自然エネル	ギーの左	効利田 お回じ	n Hh:	14年	(単位)	(5)		陽光設置		•			件
	②事務事業の意図(とのようにしたい 目然				にやさしいま			フ,4世	小仙	吸旧C垛児	成界		コキュー	ト設置件	+数			件	
	-213	· C / V/V		-0,24 0,77,		10 1001 8		- 1FYE / .9/0				指標		BH . [. =: -		No.			7-1
_						0 + E -			N 4	-	, ,	6)		陽光発電					件
手叽	3 E	的を達成す	する	ために実際	に	住宅用太陽	光発電シ	/ステム及び(住宅,	用工:	コキュート	活重	カーエ	コキュー	ト補助件	F 数			件
段		た行政活動				設置者に対	し、設直	買の一部を作	用切			指標							
/ D	_ 1 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	+ + t-t																
_		務事業の																	
事	業費 /	及び指標の	推:	移															

			事業の美施 が指標の推移								
	1424		事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円	7,497				25,000	25,000	25,000
投		財	県支出金	千円							
入	事	源内	地方債	千円							
コ	業費	訳	その他	千円	10,336	12,737	22,946	25,200	25,200	25,200	25,200
スト			一般財源	千円							
_			事業費計(ア)	千円	17,833	26,034	37,076	50,200	50,200	50,200	50,200
イン			職員割合	人 千円	0.65 4,875	0.75 5,625	0.80 6,000	0.80 6,000	0.80 6,000	0.80 6,000	0.80 6,000
プ	人		時間外	千円							
ッ	件		嘱託臨時	千円							
1	費		他課の協力分	千円							
			人件費計(イ)	千円	4,875	1		6,000	6,000	6,000	6,000
	}-		シコスト(ア)+(イ)	千円	22,708				56,200	56,200	56,200
			指標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活			発電補助件数	件	49				251	251	251
動	エニ	1+=	ュート補助件数	件	131	119	107				
動指標											
		H . f.	and and the state								
対象			発電予算額	千円	9,973	-	.		50,200	50,200	50,200
象指	エニ	ュキュ	ュート予算額	千円	7,860	7,200	6,420				
標		H VI	SH. IIII Id MI	61							
成果			設置件数	件	49				251	251	251
果指	工二	コキニ	ュート設置件数	件	131	119	107				
標											

社会情勢の変化・う事務事業を取り巻く		L及び社会環境	色の変化(開始時期又	ては5年前との比	較)・市民からの意見や要望》
東日本大震災の影	響により、自然エネルキ	ドーに関する市	民の関心が高まり,要	 望も多くなって	いる。
]けて, 行政の領	範囲は行政の役割が	ら見て適切か?	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
安)整合性, 対象と意図の	妥当性《目的	(対象と意図)は総合	計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性 評 価 □ 見直しの余			環境基本計画の資る。	源エネルギーの	有効利用に対応した太陽光発電の有効利用を図ってい
右	余地 《成果は,昨年度 効果《全市民,または多				である成果向上ができるか?》
性評 回 向上の余地			一般住宅への普及	推進,市民の環境	竟意識の向上を図ることができた。
					直し、市民の協力など)》
学		ずに人件費を削	減できないか?(業績	務プロセスの見正	近し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
性評 図 削減の余地			補助額は補助交付から効率性は高い。		るものであり, 財源として国の交付金を充当していること
一次評価結果	_		全体総括(振り返り	, 反省点)	
	適切 □ 見直しの会				
	適切 見直しの会		市民要望も高く,事	業を継続して推	進する。
効率性 ✓	適切 □ 見直しの会	余地がある 			
【ACTION】事務事	業の改革・改善		ーアップ 前年度の記	果題や問題点	その他
①改革・改善案 課題なし		(3)前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
					□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
					□↑(貸余で対象を抹ることに対応しさる
					⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
◎北世 北美安北	実現する上で克服する~	12			□ 他に手段がない
課題と解決方法	た兄 9 る上 じ兄 服 9 る?	④ 取組	1状況		□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
					名称
					□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している
ı					
【PLAN】事務事業の	の計画				
総合評価	今後の方向性	現行と			評価理由 かひとつとして,市民の要望も多く,地球温暖化対策とし とから,継続して事業を進める。
THE HIM	資源配分	現場	犬維 持		

[PI	LAN)	事務事業の	の計画	事務事業	番号	3					所	「属部課名	市	民生活	部環境保全語	課
			公害防止(騒音	亜息 水質活	温 笑)	評価区分		務事業性質	事	義務的事業		基本計画		J.	听管省庁	
	事務	事業名	に関する事業	,心关,小貝们	倒寸)	評価事業		要事務事業			重	点視点	助単	市単独		
		~!. <i>!</i>	4 5 6 1 1 1 1 1 2 3	#A-a-11 1-	.b -7 . L.L		総合	計画実施計画	曲	<u></u>			独	-11: 1 42-1		
総	政	政策	4 自然と共生した	,			事	新規・継続		継続			区	補助率		
合計	策体	小政策 施策	3 自然環境に 1 環境保全・4	やさしい循環質	性任会を	つくりよう	業	開始年度		終了年度			分			
			3 環境保全活				—— 期 間		単	年度繰返し	共催	者•関係[団体			
	予	会計	款	項				細目名		関連計画						
貨	第	一般	衛生費	保健衛生費	環境	養衛生費	水質剂	争化対策事業		根拠法令	環境	基本法外	環境	意関連法	令	
禾	斗	一般	衛生費	保健衛生費	環境	竟衛生費	環境	竟対策事業		実施手法		補助金の	り有熱	無 負	負担金の有無	莊
	Ⅎ									一部委託		_			_	
1	【事剂	务事業の全	体概要及び背景				が行う	業務内容及び	ド手順						内容(決算額	į)]
			て必要な基本的			く立入検査				•苦情			償費		千円	
			公害の防止策の							370⁴	÷	旅			千円	
)健康を保護する)保全に寄与する		の舌情を	讨心							用費	28 2,372	千円 七四	
C 8))(_, :	生伯界児()	木王に サック	η°										1,227		
													1 31/-	. 1,221	113	
					H25事	業計画			I26事	業計画			ŀ	H27事業	計画	
				同上				同上				同上				
5	事終	事業の目的	小手段												単位	
			70 1 40						4	一般市民					人	
	①文 ()新	す象 きかける相=	E. + (D)	一般市民					対象		负査(基	準適合)			件	
目	(割)	ラル・ハーの作ー	F. (00)						指標							
的	②車	森事業の音	は図(どのようにした	÷ \\					5	苦情対応何		A 1:			%	
			態にしたいのか)	公害防止に	向けた晋	等及啓発、未然	然防止の		成果	立入検査	表準適	合率			%	
									指標	苦情件数					件	-
手		1.11.2.)+. b	1. we 2	- A) Harta No	-m-1-	It leak a	e ==00		6	測定立入村	命杳				件	=
段			するために実際	こ 公害実態の	調査•苦	情相談及び	心埋。		活動	一般環境》	<u> </u>	、共用水:	域)		件	
	111	バイ丁 収 活 野	動(サービス)						指標	事業所立					件	
9																

事	業費	及び	が指標の推移														_	
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円				421		540		1,218		1,218		1,218		1,218
入	事業費	源内	地方債	千円														
ココ	考費	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円		1,833		1,960		3,620		3,991		3,991		3,991		3,991
-			事業費計(ア)	千円		1,833		2,381		4,160		5,209		5,209		5,209		5,209
イ			職員割合	人 千円	0.41	3,075	0.90	6,750	0.60	4,500	0.60	4,500	0.60	4,500	0.60	4,500	0.60	4,500
プ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円														
1	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		3,075		6,750		4,500		4,500		4,500		4,500		4,500
	} ~	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円		4,908		9,131		8,660		9,709		9,709		9,709		9,709
		扌	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	苦	青件	数	件		388		242		370		370		370		370		370
動	測定	定立.	入検査	件		_		24		23		23		23		23		23
指標	一角	设環境	竟測定(公共用水域)	件		-		6		6		6		6		6		6
	事	美所	立入検査(延数)	件		-		40		41		45		45		45		45
対色	/-	设市	- 1	人		79,409		78,862		78,279		78,279		78,279		78,279		78,279
象指	測知	官立,	入検査(基準適合)	件		-		23		22		23		23		23		23
標																		
成里			応件割合	%		100		100		100		100		100		100		100
果指	立	人検	查基準適合率	%		-		96		96		100		100		100		100
標																		

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、平成23年から、水質汚濁防止法等の権限委譲を受け立入検査及び一般環境調査等を実施している。また、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律(第2次一括法)に基づき、平成24年度から自動車騒音常時監視等の事務を行った。

ı	CHECK	事務事業の-	一次評価
---	-------	--------	------

総合評価

資源配分

	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の筆	色囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性評	☑ 適切である	市民からの苦情に対し、すぐに対応を行いっている。 また、H23年度から県の権限委譲を受け、関係事業所への立入や、公共用水域を含む環境
価	□ 見直しの余地がある	測定を行っており、法令等に基づき事務を遂行している。
	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうでる	bったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか ? 》
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	施策への波及効果があるか?》
性評価	☑ 向上の余地がない	公害等苦情については、市民の主観的感覚によるものであり、件数を減少させることは難しい。そのため、同一原因による苦情がないよう迅速に対応している。
1	□ 向上の余地がある	また、雑草苦情等は該当年度の天候等の関係で増減が激しくなる。
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	 削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性評	☑ 削減の余地がない	立入検査の際の分析委託費は、測定項目等は法令等で決められており、事業費等を削減
価	□ 削減の余地がある	することは困難である。
— }	欠評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	義務的事業のため、事業の縮小等は困難である。 苦情についても、個人の主観的であるため成果の向上は難しい。
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
Ι Δ.	CTION 東敦東紫の改革・改善フトロー	-マップ 並年度の課題や問題と その他

- 効率性 □	適切 □ 見直しの分	や地かめる			
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の	課題や問題点	その他
①改革•改善案		③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる
②改革·改善案を 課題と解決方法	実現する上で克服するペ	④ 取組	状 況		 ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) ☑ 他に手段がない (世に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 (地の事務事業や活動と統廃合や連携ができる) 一 旅廃合や連携はできない・既に連携している
【PLAN】事務事業	の計画				137 boresto I
	人從五十六世	エロ /二 1	シナメルや小やキ	*************************************	評価理由
	今後の方向性	現行と	ごおり継続	我務的事業であ	り、現行を維持する。

現状維持

[PL	AN	】事務事業の	の計画		事務事業都	 子	4						所属	部課名	市民	生活部	環境保全課
	事務	等業名	飼い犬を 動物愛		病予防事業		評価区分評価事業	ue I	事務事業性質 重要事務事業 合計画実施言		義務	8的事業 — —	後期基重点			所 <mark> 万単独</mark>	管省庁
合	政策体	政策 小政策 施策	3 自然		全でやさしさの さしい循環型			境〕 事 業	新規・継続 開始年度	F	終	継続 了年度			分	前助率	
	系	小施策	3 環境	保全活動				—— 期 間	不明	È		度繰返し	共催者	・関係に	日体		
子 第 系	軍	会計 一般	(新生		保健衛生費	環境	目 5衛生費 -	環境衛	細目名 生費標準的事	事業	根	連計画 拠法令 実施手法	在大病·	予防法 前助金σ)有無	負担	旦金の有無
E		攻車坐の今	从 //// 一	ひょ ドコピ 早、	1 0 /1104車	₩⇒↓両	(子)>+1 业=	女 ぶつころ	类效力应及	アドエリ		直営	度目標】	_			卒(決算額)】
狂力	で病	予防法に基	づく飼い	\犬の登録	1 2 【H24事 最 飼い犬の登 経大病予り 記代表マナー 同い犬病予り 同い犬病予り 同れ犬病予り	登録 5集合注 -向上の H25事 登録 5集合注	差射の実施 啓発 業計画 ご射の実施	有204亿分	美務 内容及				予防接種	重 報信	賞費:	質の内4 5,364円 376,950 7事業計	PJ
1		事業の目的	りと手段							(4)	I-,	ぐ登録頭数	<i>∖</i>				単位頭
目		対象 きかける相手	手・もの)		一般市民) 対象 指標	良票						
的		「務事業の意 い。どういう状!			、狂犬病予防 防接種を受り					⑤ 成果 指標	見票	E犬病予防					頭
	段 行った行政活動(サービス)				飼い犬の登 る飼養マナー					⑥ 活動 指標	为	E犬病予防	方接種頭	·数			頭
DO)]]事	務事業の	<u>———</u> 実施		- 												-

_			事業の美施 ニュー															
事	業費	及て	ド指標の推移															
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事	源内	地方債	千円														
コ	業費	訳	その他	千円														
スト	,		一般財源	千円		272		299		382		312		312		312		312
<u> </u>			事業費計(ア)	千円		272		299		382		312		312		312		312
1			職員割合	人 千円	1.17	8,775	0.73	5,475	0.75	5,625	0.75	5,625	0.75	5,625	0.75	5,625	0.75	5,625
ンプ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円														
1	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		8,775		5,475		5,625		5,625		5,625		5,625		5,625
	}-	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円		9,047		5,774		6,007		5,937		5,937		5,937		5,937
		扌	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	狂っ	た病	予防接種頭数	頭		4,154		4,372		4,280		4,600		4,600		4,600		4,600
動指																		
指																		
標																		
対	犬猛	登録	頭数	頭		6,582		6,531		6,526		6,526		6,526		6,526		6,526
象指																		
標																		
成田	狂っ	 大病	予防接種頭数	頭		4,154		4,372		4,280		4,600		4,600		4,600		4,600
果指																		
標																		

	会情勢の変化・F 务事業を取り巻く			上及び社会環境	の変化(開始時期)	スは5年前との比	(較)・市民からの意見や要望》
<u>_</u>							
[C]	HECK】事務事業 ①行政関与の劇]けて, 行政の筆		ら見て適切か?	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要	②総合計画との)整合性, 対	象と意図の	妥当性《目的	(対象と意図)は総台	計画と結びつい	ハているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性評	☑ 適切である				狂犬病予防法に基	づき行っている	事務であり必要性は非常に高い
価	□ 見直しの余	:地がある			317 (117 177 121 - 21	017 - 0. 0	7.10 (657) Z X E160) FIX (-164)
有効					あったか?工夫をす ○施策への波及効果		更なる成果向上ができるか?》
効性評	☑ 向上の余地		, 2/2/49	(1) 1020 (121)			ジャント・ファナウェナイン・ファン・ファナー・ファナー・ファイン・ファナー・ファイン・ファナー・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン
評価	□ 向上の余地	也がある					法はなく予防接種を行うことことが非常に有効な手段で え,成果は向上している。
効							L直し,市民の協力など)》
効率性			加量を下げ、	ずに人件費を削	減できないか?(業 	務プロセスの見し	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
性評価	☑ 削減の余± □ 削減の余±				必要最低限の経費	で実施しており	,削減する余地はない。
<u>—</u> }	大評価結果	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			全体総括(振り返り	, 反省点)	
	必要性 ☑	適切 🗌	見直しの会	余地がある			
	有効性 🔽	適切	見直しの名	余地がある	法律で定められた	業務であり,継続	売して推進する。
	効率性 🔽	適切	見直しの名	余地がある			
[A	CTION】事務事	業の改革・改	:善	フォロー	ーアップ 前年度の詞	課題や問題点	その他
	改革・改善案 顕なし			③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
HAT.A	選 なし						□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
							□↑(有条で対象を採ることで対応できる
							⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
	改革・改善案を実	実現する上で	克服する~	べき ④取組			□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
課品	題と解決方法						名称
							□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
							□ 統廃合や連携はできない・既に連携している
<u> </u>							
【PI	_AN】事務事業の	の計画					
	(1) A == (今後の力	方向性	現行と	だおり継続	法律で定められ	評価理由 いたいる事務であることから,継続して事業を進める。
	総合評価	資源西	记分	現り	犬維 持		

大	ルビロ	11 1541 3 3 4 4	77 =	T THE T	叫大炬															
[PI	.AN	事務事業	の意	十画		事務事	業番号	5							所属	部課名	市	民生活 語	郭環境傳	呆全課
			谭	境学習推	光准車光			評価区分	子		務事業性質		政策的	的事業	後期基準			戸	听管省片	Ť
	事務	事業名		児子百世 民環境活				評価事業	左		要事務事		-	_	重点	視点	助単	市単独		
						* /.*					計画実施記			\supset			独	山中巡		
総	政	政策	4					づくり〔生活環	境〕		新規•継続			統				補助率		
合	策	小政策	3				₹型社会を	つくります		事業	開始年月	헌	終了	年度			分	田切十		
計	体	施策		環境保全						期	H20		Н	[29	共催者	• 関係 5	引休			
	系	小施策	3	環境保全	を活動の					間					八压.口	DIVI	414			
=	予	会計		款		項		目			細目名			計画						
貨	章 斗	一般		衛生費	保	健衛生殖	費 環境	竟衛生費	環境	記保全	È促進助成₹	事業	12.40	L法令						
														施手法	補	助金の	有無		担金の	有無
														直営		0				
1	【事	务事業の全	(体	既要及び	背景】	2 (H24	事業計画	(主に担当す	が行	行う美	業務内容及	び手	順)】		度目標】				内容(決)	算額)】
		関する基本				環境学	望イベントの	つ実施, 環境	シフォ	<u>-</u> ーラ	ラムの開催,	市民	や事		オーラム			802,80		
		に向って,」				業者の場	 環境保全性	動の支援。	連携	5				加者数	500人			1,151,		
	りるι よる。	取組を総合	出77	いつ計画	的に推											1交才	穷賀	98,406	川	
) (压)	9 D ₀																			
								業計画				H26	事業計	十画		'	Н	27事業	計画	
								つ実施, 環境												
								事業者の環	環境化	呆										
						全活動の	の支援。連	携												
5	事務	事業の目的	りと	手段															j	単位
	① \$	寸象										4		般市民						人
1		きかける相手	F.	‡ かり		一般市民	1					対象								
目始	(1004)	C	_			rm (소) ~ FF	1 Ly # L-m	1 A 3 A 70 L	7.2 1) .I=	3+1-4	指標		立一,	二)幺加	1 = 12 + 14 + 1				
的	②事	務事業の意	巡	(どのように	_レ/こい			念を実現すに関する取組				⑤ 成身			ラム参加会参加者					人
	のか	。どういう状況	態に	こしたいの	カュ)	し、良好的に推進	は現現形成 ■する	に関する収率	HŒ,#	恋(口)	がかっ計画	ルカ おお	西 日 3	 然既祭ュ	3 参 川 有	奴			_	人
						四位一、二)分						ラム参加	1者数			_	人			
手		- 44.3 SHOW	1		→ 17(h)y) →	~!!! (- ' *						6	<u> </u>		開催数					回
段		目的を達成 [、] った行政活動				東現ノオ	一フム,塚雰	記字省イベン	トクノチ	き他		活動	<i>y</i> J	,	11.41,					
	117	ノ/こ1 J 以 佰 S	別(y — []	,							指標	式							
D	○]]	務事業の	実が	11																
事	 と 費	及び指標の	推	移																
		事業費			単位	22年	- 度(実績)	23年度(実	績)	24年	三度(実績)	25年	度(計	·画)26 ⁴	年度(計画	画) 274	下度	(計画)	28年度	(計画)
		7 不具		A 111	→ = -	1	JC () (1)()	- 1 2 ()		1	() (//////	'	>~ (P1	,	, 50 (H) F	,, _,	. ~		- 1 2	

財界支出金											
事	業費	及び	が指標の推移								
	業費及び指標の推移 事業費 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費割合 時間外 嘱託臨力分 人件費 他課の協力分 人件費 他課の協力分 人件費十分 トータルコスト(ア)+(指標区分 環境フォーラム参加者 自然観察会開催数			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財	県支出金	千円							
入	事	源 内	地方債	千円							
コ	老曹		その他	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
スト			一般財源	千円	3	2	4	5	5	5	5
_			事業費計(ア)	千円	2,003	2,002	2,004	2,005	2,005	2,005	2,005
イ			職員割合	人 千円	0.76 5,700	0.90 6,750	0.92 6,900	0.92 6,900	0.92 6,900	0.92 6,900	0.92 6,900
プ	人		時間外	千円							
ッ	件		嘱託臨時	千円							
1	費		他課の協力分	千円							
$\overline{}$			人件費計(イ)	千円	5,700	6,750	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900
	}-	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	7,703	8,752	8,904	8,905	8,905	8,905	8,905
		ŧ	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活	環均	竟ファ	ォーラム参加者数	人	452	375	464	500	500	500	500
動	自多	然観	察会開催数	口	3	4	4	4	4	4	4
指											
標											
対	一 角	股市	民	人	79,409	78,862	78,279	78,279	78,279	78,279	78,279
象指											
標											
成	環均	竟ファ	ォーラム参加者数	人	452	375	464	500	500	500	500
果指	自多	然観	察会参加者数	人	73	105	122	120	120	120	120
標											

	会情勢の変化・ 务事業を取り巻			l及び社会環境	の変化(開始時期)	スは5年前との比	較)・市民からの意見や要望》			
	HECK】事務事			1けて 行政の領		よ見て適切から	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》			
.67							っているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》			
性評価	☑ 適切である□ 見直しの余						進は環境基本計画の重点事業であり、笠間市の環境を がむことを目的としていることから必要性は高い。			
\pm					あったか?工夫をす の施策への波及効果		見なる成果向上ができるか?》			
性評価	☑ 向上の余均□ 向上の余均	也がない					ロすることにより,環境の保全に興味を持ったもらうことが			
	⑤事業費の削	減余地《氵	活動量を下げ	ずに事業費を	削減できないか?(イ	仕様や工法の見	直し,市民の協力など)》			
学	⑥人件費の削	减余地《活	舌動量を下げ	ずに人件費を削	減できないか?(業	務プロセスの見直	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》			
性評	☑ 削減の余	地がない				ターからの100%	が補助を受け事業を実施しており,事業費の削減はしな			
価	□ 削減の余	地がある			V ' ₀					
	次評価結果 —		_		全体総括(振り返り	, 反省点)				
:	必要性 ☑	適切	」 見直しの会	余地がある	理培フューラムにタ	アンの古足が会力	ロしており、環境に関する基本理念を実現するために事			
:	有効性 🔽	適切	見直しの会	余地がある	業を推進する。	ラくの川 氏が参加	ロしくわり、塚児に関する <u></u>			
	効率性 ☑	適切	見直しの会	余地がある						
(AC	CTION】事務事	業の改革・	·改善	フォロー	-アップ 前年度の詞	果題や問題点	その他			
① t	女革•改善案			③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策			
							□影響は大きく、問題の発生が予想される			
							□ 代替案や対策を採ることで対応できる			
							⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)			
<u> </u>	女革・改善案を	実現するト	で克服する	(き) (こ)	11.5		□他に手段がない			
	夏と解決方法	791 / SI		④ 取組	状況 ————————————————————————————————————		□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)			
							名称			
							□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している			
<u> </u>										
_ PL	AN】事務事業	の計画								
			の方向性	現行と	だおり継続	必要性,有効性	評価理由 , 効率性ともに適切であり, 現行どおり継続する。			
	総合評価	資源	原配分	現場	注維持	持				

【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 6	所属部課名 市民生活部環境保全課
	期基本計画 補 所管省庁
	重点視点
	単加地
総政 政策 4 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり〔生活環境〕 新規・継続 継続	
合 策 小政策 3 自然環境にやさしい循環型社会をつくります 事 開始年度 終了年度	分量
計体施策 2 廃棄物対策 期 単年度繰返し 共	催者・関係団体
■ 米 小施策 2 循環型社会の推進 間 「 「 「 「 「 「 「 「 「	
	般廃棄物実施計画
	棄物の処理及び清掃に関する法律
科 一般 衛生費 清掃費 塵芥処理費 最芥処理費 最芥処理費 異応手法	補助金の有無負担金の有無
■	
1 【事務事業の全体概要及び背景】 2 【H24事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3 【年度目	
一般家庭から排出される廃棄物の減 ・一般廃棄物の収集運搬業務委託 1日1人あれ	
量化と処理。 ・市指定ごみ袋,不燃ごみ処理券,収集コンテナの作成 ミの排出量・エコフロンティアかさまとの一般廃棄物処理委託 700g	需用費 805千円
・エコフロンティアかさまとの一般廃棄物処理委託 700g	委託料 473,411千円
	負担金補助及び交付金 243,326千 円
	積立金 44,630千円
H25事業計画 H26事業計画	H27事業計画
同上	同上
5 事務事業の目的と手段	単位
	人
リカ家 一般市民 対象	
日 **** -	
的②事務事業の意図(どのようにしたい) 台灣時のウェル紙環境は今の構築された。	のゴミの排出量 g
11年1人あたり0	カゴミの排出量
千 一般廃業物の収集連搬業務安託 0	のゴミの排出量 g
行った行政活動(サービス) 一般廃棄物処理手数料の基金積立 指標 指標	
【DO】事務事業の実施	

_			尹未り天旭															
事	美費		ば 標の推移															
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	度(実績)	25年月	度(計画)	26年度	度(計画)	27年度	E(計画)	28年月	度(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円								_		_		_		
入	事	源内	地方債	千円														
コ	事業費	訳	その他	千円		89,810		106,062		94,681		98,192		98,192		98,192		98,192
スト			一般財源	千円	9	34,943	,	737,444	(668,206		727,689		727,689		727,689		727,689
_			事業費計(ア)	千円	1,0	24,753		343,506		762,887		825,881		825,881		825,881		825,881
イ			職員割合	人 千円	0.99	7,425	1.25	9,375	1.50	11,250	1.50	11,250	1.50	11,250	1.50	11,250	1.50	11,250
ププ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円														
ト	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		7,425		9,375		11,250		11,250		11,250		11,250		11,250
	トー	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	1,0	32,178		852,881		774,137		837,131		837,131		837,131		837,131
		打	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	要(実績)	25年月	度(目標)	26年度	度(目標)	27年度	E(目標)	28年月	度(目標)
活	1日	1人	あたりのゴミの排出量	g		740		738		711		700		700		700		700
動指																		
指揮																		
標																		
対免	—	設市.	民	人		79,409		78,862		78,279		78,279		78,279		78,279		78,279
象指																		
標																		
成用	1日	1人	あたりのゴミの排出量	g		708		741		711		700		700		700		700
果指																		
標																		
																	=	

社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環	境の変化(開始時期又は5年前との比較	☆)・市民からの意見や要望》									
一般家庭から出る廃棄物については、分別収集を実施 いる。	しており、ゴミの排出量も減少しているか	び、頭打ち状態となり新たな方策を考える必要が生じて									
【CHECK】事務事業の一次評価 ①行政関与の必要性《目的達成に向けて, 行政の	↑ 毎日は行政の犯事は、と目で適切かり。	とも 士尺 の 辛 点 め 払 入 の 冊 連 払 と 目 で 流 切 払 り \\									
Vs.		た川氏の息向や社会の委捐が5元 C週別が?》 ているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》									
性 図 適切である	一般家庭から排出される廃棄物の収施している。	集運搬及び処分を、一般廃棄物処理計画に基づき実									
③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてどう 有 ④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他		なる成果向上ができるか?》									
性 評 価 向上の余地がない つ 向上の余地がある	一般家庭から排出される廃棄物につ 等他の事業展開との連携を今後も継	いては、成果の向上は難しいところであり、資源物回収 続していく。									
大h		削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 減できないか?(業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》									
性 型 削減の余地がない □ 削減の余地がある		搬及び処分を実施しているが、時勢の影響等もあり、コ									
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)	全体総括(振り返り, 反省点)									
必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある 有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	義務的事業のため、必要性等は適切本事業は、他の事業の改善等によりる。	義務的事業のため、必要性等は適切である。 本事業は、他の事業の改善等により効果が上がることから、他の事業と連携を図ることとする。									
効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある											
【ACTION】事務事業の改革・改善フォロ	ューアップ 前年度の課題や問題点	その他									
①改革・改善案	年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策									
		☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる									
		□ N日来 (NRを床ること C N/m C C S									
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)									
②改革・改善案を実現する上で克服するべき	組状況	☑ 他に手段がないⅢ 他に手段がある(事務事業名・活動名)									
課題と解決方法	MINTAL	1 他に子校がある(事務事業名・石動名) 名称									
		□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している									

_	【PLAN】事務事業の	の計画		
	総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 義務的事業であり、現行を維持する。
	₩₩ ☐ ₽T IIII	資源配分	現 状 維 持	

[PI	LAN	事務事業	の計画		事務事業都	番号	7							所属部	課名 市	民生活	部環境	呆全課	
			資源物集団	田田田笠	ルサナスを	計計重	評価	区分		事業性質		政策的事	業後	期基本語		Ī.	听管省月	ī	
	事務	事業名	業	可四伙子		11477 - 37	評価	事業		事務事				重点視点	点 助 単	国補助	国十四	交通省	
(1)	1	Th 550	4 5 54 1.44	出 シ か 		ナッナナ				画実施語		○			独		, , , ,		
	政	政策	4 自然と共生 3 自然環		しい循環型					規·継続 開始年月		継続 終了年	亡		区	補助率	5/	10	
合計	策体	小政策 施策	2 廃棄物		しい相界至	至江云で	*ノヘリエ	9	業	用炉干り	支	於丁午			分				
画	系	小施策		れた 社会の推	能推				期間		耳	年度繰	返し 共	催者・関	係団体				
	子	会計	款	177.71	項		目			目名		関連計画	画						
1	第	一般	衛生費	,	清掃費	清掃	棉総務費	·		比推進事	業	根拠法							
7	計											実施引	F法	補助	金の有額	無	負担金の	有無	
	1											直営	-		0				
			と体概要及び		2 【H24事								【年度				内容(決		
27	ナのり	東量化と再	「資源化を図 日体等が行う	るた	市内の市を交付	民団体	等が行う	資源物	分別回	収に対し	_ン ,奨加	力金 ごる	みの冉!	資源化	負担金 5,809刊		び交付金	主	
			」体等か1775 奨励金を交		を父刊 ・生ごみ処	理灾哭((コンポス	(人笙) 胴	表入補品	h仝をな	(.)		.5%		5,8097	-17			
る。	また	、市内の名	关が立て文 子家庭から排	出され	王二沙龙	生石矿	(-2 412	い、寸/別	サノヘイ田・ウ	が正て文	1.1	22.	.J /0						
			乙及び再資源																
			, 生ごみ処理	里容器															
購	人補.	助金を交付	寸する。			1105車	業計画				LINCE	事業計画			T	·127事業	:≟ட்கர்		
					・市内の市			資源物	分左	に同じ	H20=	尹 表訂四		左に	<u>「</u> こ同じ	121 尹末	:計画		
					別回収に対				73	(= -,0				<u></u>					
						. ,													
_	- -	+ ** ~ = =	4.) Trn))/ /L	
5		事業の目	的と手段								4	一般市	: 足.					<u>単位</u> 人	
	①\$		- 1 -1		一般市民						対象								
目	(働	きかける相	手・もの)		7201124						指標								
的	の重		意図(どのよう)	こしたい							(5)	ごみの	再資源					%	
			態にしたいの		住環境の向	上と循環	型社会の	り構築を	目指す。	•	成果			回収参加[団体		団体 t		
											指標							т %	
手	<u>ത</u> ⊧	かかませ	するために	字 (攻又) テ	資源物集団	源物集団回収に対する補助							団体			団体			
段	づけ行っ	かど達成な行政活	こり つにめにき 動 (サービス	夫除に	生ごみ処理	容器への	補助				石 指標		分別回	可収量				t	
Ļ				.,							11 NV								
_		務事業の																	
事	業費.	及び指標の					ı			,									
		事業費		単位		(実績)	23年度	(実績)	24年度	E(実績)	25年月	度(計画)	26年月	度(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)	
			庫支出金	千円		261		236		60									
投		財	支出金	千円												-			
投入		源 内	地方債	千円															
コス	業費	訳	その他	千円		5,717		5,567		5,749		6,350		6,350		6,350		6,350	
ス	貝	費 訳 その他 千円 一般財源 千円																	
1			貴計(ア)	千円		5,978		5,803		5,809		6,350		6,350		6,350		6,350	
7]割合	人千		5,325		3,450		3,075	0.41	3,075		3,075		3,075	0.41	3,075	
ン			·間外	千円		0,020	0.40	3,430	0.41	3,013	0.41	3,013	0.41	3,013	0.41	3,013	0.41	3,013	
プ	人																		
ツ																			
7	. IRMs / MU2222																		
	人件費計(イ) 千円					5,325		3,450		3,075		3,075		3,075		3,075		3,075	
	トー		(ア)+(イ)	千円		11,303		9,253		8,884		9,425		9,425		9,425		9,425	
		指標区	分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	E(実績)	25年月	度(目標)	26年月	度(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)	
活	ごみ	の再資源	化率	%		22.0		22.1		26.1		23.0		23.5		24.0		24.5	
動	資源	原物分別回	収参加団体			121		116		115		114		114		114		114	
指		原物分別回		t		1,016		992		1,035		1,010		1,020		1,030		1,040	
標						.,.10				.,	1	_,010		_,,0		,			

78,279

23.0

115

1,035

78,279

23.5

114

1,010

78,862

22.1

116

992

79,409

22

121

1,016

人

%

団体

対象指標成果指

般市民

ごみの再資源化率

資源物分別回収量

資源物分別回収参加団体

78,279

24.0

114

1,020

78,279

24.5

114

1,030

78,279

25.0

114

1,040

社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社	:会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
資源の再資源化については、現在頭打ち状況に	あるが、新たな対策が必要となってきている。
【CHECK】事務事業の一次評価	
٧٠.	行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
要し続合計画との登合性、対象と息凶の安ヨ性	:《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性 iv 適切である	市民が自主的に実施する、資源物分別回収については、補助金を交付することにより、より 一層のリサイクル等の意識向上に寄与している。
③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べて有 ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民	てどうであったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》 民や他の施策への波及効果があるか?》
性 □ 向上の余地がない □ 向上の余地がある	リサイクル率が頭打ちなため、今後更なる施策で向上が必要となる。
	業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
効 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人作	井費を削減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
性 評	資源物分別回収に対する補助金は削減の余地はないが、生ごみ処理容器については、補助対象品目を厳選することにより、削減の余地がある。
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
必要性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地があ 有効性 ☐ 適切 ☑ 見直しの余地があ 効率性 ☐ 適切 ☑ 見直しの余地があ	市民への補助金のため、意識啓発も伴うため、補助自体は必要であるが、有効性・効率性に対して対策を講ずる必要がある。
【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問題点 その他
①改革・改善案 事業開始時には回収量が多かったが、徐々 に減っているため、市民に対する広報啓発を	③前年度の改革・改善案 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律が平成25年度から全面施行するため、市としても施行前に、市内でのレアメタルを回収を始める。 ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 ②影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 レアメタル(携帯電話、デジカメ)の回収量の 更なる増加を目指すため、広報等検討が必 要となる。	 ④取組状況 平成24年10月からレアメタルの回収を始め、携帯電話、デジカメ等 167 個の回収を行った。 ● 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 一 他の事務事業や活動と統廃合や連携している

不	ᄱᄧᄆ	1 I I I I	中沙甲木叶															
[PI	<u>AN</u>	事	務事業の計画	事	務事業	番号	8							所属部		市民生活		
							評価	区分		事業性質		策的事	業後	期基本語			听管省厅	宁
	事務	事業	業名 不法投棄	坊止事業			評価	重 業		事務事業				重点視点		助 市単独		
										画実施計	十画					独		
総	政			生した安全で						規・継続		継続				区補助率		
合	策			境にやさし	い循環型	世社会を	つくりまつ	す	事業	開始年度	至 ;	終了年度	F			分量		
計	体		施策 2 廃棄物						期		単	年度繰り	# 1.1	催者•関	係団	体		
画	系		施策 3 不法投			1			間		, i					TT-		
=	予		会計 款		項	\$ 1. 1-	目	3.		目名		関連計画						
鱼	第		一般 衛生費		掃費		常総務費			匕推進事		根拠法令				び清掃に		
	斗	_	一般 衛生費	清	掃費	清排	昂総務費	緊急雇	雇用(不法投	棄廃棄物収集	事業)	実施手		補助	金の	有無 1	負担金の)有無
		7 hr	₩ ~ ^ !!-!!!!		T	- NIV - 1	()) . I H	Ne det 18	/> NIA 7	4.1.47	- 19 - F MT	一部委		⊢ last ¶			— L /) / \	Arte start \
			業の全体概要及び								び手順		年度			事業費の		:算額)】
			関係機関と連携し		ポイ捨て				及等(/)	購入			5投業: 0件	処理数		F費 353千		
ひノン	ト伝:	欠果 トかん	を防止し適正な処 公衆衛生の向上と	5年を1」「*/ 生活得 。7	不法投棄 不法投棄			長伤				90	J1 11		賃金	注 2,421 ⁻ 注料 5,323		
境	ひ保	全を	図る。	工口水	11411	か电心。	71 7477								安印	147 0,020	1 1 1	
-56-	- 110		₽ 2 0															
						H25事	業計画				H26事	業計画				H27事業	計画	
				同	上				同	上				同。	上			
5	事務	事	美の目的と手段							T		4n. 4	_					単位
	① 対	付象			加士豆						4	一般市	氏					人
目	(働:	きかり	ける相手・もの)	_	般市民						対象 指標							
的											5	不法投	奄 加 珇	1数				件
нЭ			事業の意図(どのよう		法投棄の			段棄物の	撤去に	よる清潔	成果	11/21/	**	E 9/A				11
	(1) DE	2° E.	ういう状態にしたいの)か) な	自然環境	を目指す	0				指標							
											6	不法投	棄処理	L 数				件
手	(3) F	目的	を達成するために		イ捨て禁						活動							
段			テ政活動(サービス		物の収集	運搬業務	务。不法的	设棄家電	処分業	務。	指標							
Ļ	<u> </u>			,							311 031							
			事業の実施															
事	業費	及ひ	指標の推移														_	
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	E(実績)	25年度	(計画)	26年月	度(計画)	27年	度(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
,		財	県支出金	千円		2,393	1	2,558		2,774								
投		源				۷,393		۷,558		۵,114								
投入コス	事業費	内	地方債	千円														
コ	書	訳	その他	千円		5,060		5,060		5,323		9,743		9,743		9,743	<u> </u>	9,743
-			一般財源	千円		-								-				
			/3/2/11 P/1/	1 1 3											+			
1						7.453		7.618		8.097		9.743		9.743		9.743		9.743
<u>۲</u>			事業費計(ア)	千円	0.96	7,453		7,618	0.00	8,097	0.80	9,743	0.00	9,743	0.00	9,743	0.80	9,743
<u>۲</u>			事業費計(ア) 職員割合	千円 人 千円	0.86	7,453 6,450	0.75	7,618 5,625	0.80	8,097 6,000	0.80	9,743	0.80	9,743	0.80		0.80	9,743 6,000
1	人件		事業費計(ア)	千円	0.86				0.80		0.80		0.80		0.80		0.80	

	TARACTIME TO THE TOTAL TOTAL TO THE TOTAL TOTAL TO THE TH																	
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円		2,393		2,558		2,774								
入	事	源内	地方債	千円														
コ	業費	訳	その他	千円		5,060		5,060		5,323		9,743		9,743		9,743		9,743
スト			一般財源	千円														
			事業費計(ア)	千円		7,453		7,618		8,097		9,743		9,743		9,743		9,743
1			職員割合	人 千円	0.86	6,450	0.75	5,625	0.80	6,000	0.80	6,000	0.80	6,000	0.80	6,000	0.80	6,000
ンプ	人		時間外	千円								1		1				1
ッ	件		嘱託臨時	千円														
1	費		他課の協力分	千円														
			人件費計(イ)	千円		6,450		5,625		6,000		6,000		6,000		6,000		6,000
	}-	-タバ	レコスト(ア)+(イ)	千円		13,903		13,243		14,097		15,743		15,743		15,743		15,743
		打	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	不治	去投	棄処理数	件		96		62		38		85		80		75		70
動																		
指																		
標																		
対	一角	设市.	民	人		79,409		78,862		78,279		78,279		78,279		78,279		78,279
象指	73211																	
標																		
成	不治	去投	棄処理数	件		96		62		38		85		80		75		70
果指																		
標																		

社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 家庭でのちょっとしたゴミをポイ捨てしたり、不要になった家電類を不法投棄する事例が増えている。劇的な減少は望めないため、地道な市民に対する啓発を継続して行う必要がある。											
【CHECK】事務事業の一次評価											
	節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》										
vs.	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》										
性 ☑ 適切である 価 □ 見直しの余地がある	臨時職員、シルバー人材センターによる市内沿線のゴミ拾いや、市民への不法投棄防止看板の配布等を総合計画に基づき実施している。										
③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》										
有効 ④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	り施策への波及効果があるか?》										
性 図 向上の余地がない	市民との協働による環境美化活動の促進やパトロールを実施しているが、不法投棄については、行政の評価指標にはなじまない。										
	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》										
効 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》										
性性 図 削減の余地がない	継続して事業を実施する必要があるため、事業費等の削減の余地は無い。										
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)										
必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	実施した事業が、ダイレクトに跳ね返ってくる事業ではないため、地道に事務事業を継続していく必要がある。										
【ACTION】事務事業の改革・改善フォロー	-アップ 前年度の課題や問題点 その他										
	- アップ 前年度の課題や問題点 - 渡の改革・改善案 - 高野事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 - 影響は大きく、問題の発生が予想される - 一代替案や対策を採ることで対応できる - 高類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) - 他に手段がない - 他に手段がある(事務事業名・活動名) - 名称 - 他に手段がある(事務事業名・活動名) - 名称 - 一他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる - 統廃合や連携はできない・既に連携している										

【PLAN】事務事業の	の計画		
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	現事業を継続して実施していく。
까む ㅁ #	資源配分	現状維持	

天	地音	計画・事務	务 事 美評	恤 天理問	朔昔													
[PL	AN	事務事業の	の計画	事	事務事業番	号	9							所属部	課名	市民生	:活部	環境保全課
							評価区分	}	事務事業性		義	務的事業	色 後	後期基本 に		補	所	管省庁
-	事務	等事業名	し尿処理体	制事業			評価外事	業	重要事務事					重点視		助 市場	貞 ※由	
									総合計画実施			_				独	H-777	
	政	政策					づくり [生活環:	境〕	新規・継続			継続				区補胆	力率	
	策	小政策			い循環型	生会を	つくります		事開始年	芰	終	了年度				分 """		
	体系	施策	2 廃棄物		Δ И .				期		単年	- 度繰返	しま	に催者・ 関	係団	体		
	系	小施策		理体制の強			п		間						• • • • • •			
子	÷	会計	款 衛生費		項 f掃費	1 1	目 処理費	-tJ-1_t-	細目名 地方広域環境事務	rýn A		越計画 提拠法令	into	s 玄 Mar o l	л т и т	こったいギキ	ヨテ目目	する法律
第彩	<u>.</u>	<u>一般</u> 一般	衛生費		f掃費 「掃費		处理質 处理費		北環境衛生組			実施手法			金の			9の伝律 日金の有無
		一万又	料生 質	{月	1 作 質	しか	、处理質	巩	儿界児用生組	ľ. Ē.		走爬于 位	ム	((金())	1 無	[月1]	旦金の有無
		な 車 娄 の 仝		(非基】 9	【口9/車場	*計画	(土)ヶ田 出 妻	エ おく	行う業務内容及	ちてドゴ	:川豆/		年度	目標】	4 [車業费	の内々	容(決算額)
# F	1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ウザネッエ 住み 良い生	: 洋孺音の6	100 万 克	地地卡方:		(主に担当を	3 11/1 5 7 K/	5.7. 年 6.7.14.2.6.6.4.7.4.6.6.4.6.14.6.14.6.14.6.14.6.1	組合は			十尺	日/示』				交付金
び労	シルン	できる公衆	衛生の向上	のためる	角担金のス	吸尿の SH	ピザカルロク	ζ () .,	州山水况用工 /	巾口口	(CV.)	9 /40				853千		又门亚
			寺管理に対		· / (,										101,	000	,	
		の支出。																
					ī	702車	業計画			1196	5 丰 元	業計画				11977	事業計	. ті
				同		120=	未可凹		同上	П20) 丁 オ	長司 四		同	F	П21=	尹未可	四
					1 1				163					1-1				
5 -	事發	事業の目的	りと手段	<u> </u>														単位
	∩÷	対象								4		一般市民	Ė					人
		り多 きかける相目	£•\$\@)	_	般市民					対								
Ħ	(13)	CW 17 271H	1 000)							指								
的	②事	務事業の意	て図(どのよう)	こしたい、	日の注回か	Δn τ⊞) →	というまされる。(4)	ᄣᅜ	の動性と回り	(5								
	のカ	ゝ。どういう状!	態にしたいの	か) し	水の週別な	処理に	より有係な仕	界児	の整備を図る。	成治	不							
手	@ r	7 44 4 14 14	レッチ ルファク	対 対 対	1.北環境衛生	組合、	茨城地方広	域環	境事務組合へ	6								
F/L	3) E 分:	目的を達成。	するためにӭ 動(サービス	天除に 一の	分担金支出			,,,,,,		活動指								
	111.	7/21] 蚁伯里	助(リーレス	.)						1日1	际							
(DC)]]]	事務事業の	実施															
		及び指標の																
		事業費		単位	22年度(実績)	23年度(実	績)	24年度(実績)	25年	F度((計画) 2	26年月	度(計画)	27年	度(計	画) 28	8年度(計画
			重支出金	千円														
			支出金	千円				_		1								
投入	事	海 / / /								\vdash					1			
入	本	内上	也方債	千円														

	事業費及び指標の推移																	
争茅																		
			事業費		22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年月	度(計画)	26年月	度(計画)	27年月	度(計画)	28年	度(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円														
投入	事業	源内訳	地方債	千円														
コフ	事業費	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円	1	63,682		155,763	1	151,853		166,564		166,564		166,564		166,564
_			事業費計(ア)	千円	1	63,682		155,763	1	151,853		166,564		166,564		166,564		166,564
イ			職員割合	人 千円	0.50	3,750	0.31	2,325	0.31	2,325	0.31	2,325	0.31	2,325	0.31	2,325	0.31	2,325
ンプ	人	_人 時間外		千円														·
ッ	件		嘱託臨時	千円														
1	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		3,750		2,325		2,325		2,325		2,325		2,325		2,325
	}-	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	1	67,432		158,088	1	154,178		168,889		168,889		168,889		168,889
		抖	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年月	度(目標)	26年度	度(目標)	27年月	度(目標)	28年月	度(目標)
活																		
動 指																		
指標																		
標																		
対象指	一角	设市.	民	人		79,409		78,862		78,279		78,279		78,279		78,279		78,279
第 指																		
標																		
成果指標																		
米岩																		
標																		

<u>社会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》											
			運営・維持管理に対しての分担金の支出。								
【CHECK】事務事訓											
必必么到来让			質切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》								
要學問問題		当性《日的(対象と思図)は総合計画と約	吉びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》								
性											
□見直しの余	:地がある										
		こべてどうであったか?工夫をすることでク									
3/J		市民や他の施策への波及効果があるか	^ ? »								
性評価の上の余地											
価 □ 向上の余地	<u>地</u> がある										
		こ事業費を削減できないか?(仕様やエ									
华		「人件費を削減できないか?(業務プロセ) 	スの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》								
評	地がない										
□ 削減の余	地がある										
一次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)								
必要性 🗌	適切 見直しの余地	2がある									
有効性	適切 見直しの余地	2がある									
効率性 🗌	適切 見直しの余地	2がある									
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問	題点 その他								
①改革•改善案	211 211	③前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響								
			の有無とその対策 								
			□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる								
			⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動								
			も含む)								
②改革・改善案を等 課題と解決方法	実現する上で克服するべき		□ □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)								
休息と呼びガム											
			□ □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる								
			□ 統廃合や連携はできない・既に連携している								
【PLAN】事務事業の	の計画										
	今後の方向性		評価理由								
	1 1X 22 77 113 1II										
総合評価											

【PLAN】事務事業の計画 事務事業智						番号	10							所	属部課	名 市	民生活	部環境	呆全課
							評価区	分		務事業性質		義務	的事業	後期基			j	听管省 月	宁
事務	8事業名	上	下水道諸届日	出受	付事業		評価外事	丰業		要事務事業			_	重点	視点	助一単	市単独		
								* /.*		計画実施計	-画					4	113 328		
総政	政策		自然と共生した	-						新規·継続			迷続			区	補助率		
合策	小政策		だれにもやさ	<u> </u>	、潤いのあ	る生活環	環境を整え	ます	事業	開始年度		終了	「年度			分	1113-23-1		
計体系	施策		上水道	∜ /\					期	H18		単年月	度繰返し	共催者	・関係	団体			
	小施策	3	水の安定供	桁	項		н		間、	細目名		月月 `言	1 計画						
予答	会計		款		- 供		目		Ĩ	神日名			基計画 心法令						
算科													施手法	1 3	補助金	の右右	ini 1	負担金の	方無
目												大	直営	1	田切亚	v У /Н ;	777	— 公正亚。	7 H XX
1【事務事業の全体概要及び背景】2【H24事業計							全に担当	考が	行う当	と 終内 宏 乃 7	7ド壬	順)】	3【年	度日樗	1 4	【事	業費の	内容(決	質額)】
課に代	下子の事業の主体のを及び育別 市民の利便性向上のため、上下水道 課に代わり上下水道諸届出の受付事 務を行う。				上下水道詩	H25事	業計画				<u>H26</u>	事業	計画			F	·127事業	計画	
																			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
5 事務	8事業の目的	りと:	于段										般市民						単位
	対象 きかける相=	手•₹	විත)	-	一般市民						④ 対象 指標	桑	放甲氏						人
的 ②事務事業の意図(どのようにしたい 市役所で上下水道 市民の利便性の向					受付を	する	ことにより、	5 成 月 指標	上下	水道届5 水道届5	出件数					件件			
手 ③ (目的を達成 [、] った行政活動	する 動(†									⑥ 活動 指標	丁	水道届5 水道届5						件件
[DO]	事務事業の	実施	į																

	TDOJ争務争業の夫旭 東																	
事業費及び指標の推移 事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(計画) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画)																		
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事	源内	地方債	千円														
コ	業費	訳	その他	千円														
スト	- 1		一般財源	千円														
_			事業費計(ア)	千円		0		0		0		0		0		0		0
イ			職員割合	人 千円	0.98	7,350	0.96	7,200	1.05	7,875	1.05	7,875	1.05	7,875	1.05	7,875	1.05	7,875
ンプ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円														
1	費		他課の協力分	千円														
			人件費計(イ)	千円		7,350		7,200		7,875		7,875		7,875		7,875		7,875
	}-	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円		7,350		7,200		7,875		7,875		7,875		7,875		7,875
		扌	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	上ス	k道.	届出件数	件		1,969		2,226		2,200		2,200		2,200		2,200		2,200
動	下ス	k道.	届出件数	件		139		198		170		200		200		200		200
指揮																		
標																		
対	一角	设市.	民	人	7	9,409		78,862		78,279		78,279		78,279		78,279		78,279
象指	7,541																	
標																		
成田			届出件数	件		1,969		2,226		2,200		2,200		2,200		2,200		2,200
果指	下ス	k道.	届出件数	件		139		198		170		200		200		200		200
標									-									

<u>社会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》											
*	労争来で 以り 合く	、現場《刈家で伝行版》	2.久い仕云界児	107後116(開始时期)	くは3十削とりが	戦)・川氏からの息兄で安全//					
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	¥ α									
[C	HECK】事務事業		コけて 行政の領	節囲け行政の役割が	ふら見て適切から	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
必						いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
要性評											
評価											
,,	□ 死世しの永										
有						更なる成果向上ができるか?》					
有効性	④成果の波及	め果《全市民,または多	くの市民や他の	り施策への波及効果 	やかあるか? 》						
性評	□ 向上の余地	がない									
価	□ 向上の余地	也がある									
	⑤事業費の削	咸余地 《活動量を下げ	ずに事業費を	_ 削減できないか?(^	仕様や工法の見	L直し,市民の協力など)》					
効率	⑥人件費の削減	域余地 《活動量を下げ	ずに人件費を削	減できないか?(業	務プロセスの見	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》					
性評	□ 削減の余均	也がない									
価	 □ 削減の余±	也がある									
<u></u> ;				全体総括(振り返り	, 反省点)						
	_	適切 □ 見直しの	余地がある		,						
	_	適切 □ 見直しの									
	効率性 🗌	適切 □ 見直しの	余地がある 								
(A	CTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の	課題や問題点	その他					
1)	改革•改善案		③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策					
						□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる					
						⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動					
						も含む)					
		実現する上で克服する	べき ④取組			□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
課	題と解決方法					名称					
						□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる					
						□ 統廃合や連携はできない・既に連携している					
<u> </u>											
_											
(PI	LAN】事務事業の	の計画				評価理由					
		今後の方向性									
	総合評価										
		資源配分									

[PI	AN'	事務事業の	の計画	事務事業	番号	11						所属	部課名	市民	生活部環	境保全課
		事業名	有害鳥獣捕獲			評価区分評価事業	<u> </u>	事務事業性 重要事務事 合計画実施	業	政策	的事業 —	後期基重点	本計画	補助	所管 単独	
計	政策体系	施策	4 自然と共生した 3 自然環境に 1 環境保全・2 3 環境保全活	やさしい循環型 公害防止			境〕 事 業 期間	不明	变	終了	<mark>性続</mark> 年度 度繰返し	共催者	関係因	区 補.	助率 間市有害	序鳥獣捕獲
- 第	章 斗	会計一般	款 衛生費	項 保健衛生費	目 〔衛生費		細目名 鳥獣捕獲事	業	根执	計画以法令施手法直営	補	i助金の 一	う有無	負担金	金の有無 一	
目											円					
5		事業の目的	りと手段						<u>4</u>) -	般市民					単位人
目的	り ②事務事業の意図(どのようにしたい				よる農業	被害等に対し	して被害	その軽減を図	対 指 15 成 り	象 票) イ	ノシシ捕灸	獲数 插獲数				頭匹
手段	3	 的を達成 ⁻	態にしたいのか) するために実際 動(サービス)	る。	前獲隊によ	る有害鳥獣の	を実施した。	指 6 活 指	漂 方	ラス捕獲害鳥獣抗	数				羽回	
		務事業の														
車耳	百 君	B Γ ド 指 煙 σ)推移													

	LDOJ事務事業の夫旭 東業弗及び性煙の推致													
事	事業費及び指標の推移													
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)			
			国庫支出金	千円										
投		財	県支出金	千円										
入	事	源内	地方債	千円										
ココ	事業費	訳	その他	千円										
スト			一般財源	千円	1,029	1,105	1,370	2,200	2,200	2,200	2,200			
_			事業費計(ア)	千円	1,029	1,105	1,370	2,200	2,200	2,200	2,200			
イ			職員割合	人 千円	0.59 4,425	0.62 4,650	0.61 4,575	0.61 4,575	0.61 4,575	0.61 4,575	0.61 4,575			
プ	人		時間外	千円										
ッ	件		嘱託臨時	千円										
1	費		他課の協力分	千円										
)			人件費計(イ)	千円	4,425	4,650	4,575	4,575	4,575	4,575	4,575			
	トー	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	5,454	5,755	5,945	6,775	6,775	6,775	6,775			
		扌	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)			
活	有智	手鳥	獣捕獲回数	回	3	3	3	3	3	3	3			
動指														
指標														
対	一角	设市	民	人	79,409	78,862	78,279	78,279	78,279	78,279	78,279			
象指標														
標														
成果指	イノシシ捕獲数		頭	31	26	36	30	30	30					
末 指	ハクビシン捕獲数		匹	7	4	29	20	20	20	20				
標	カラ	ス排	i獲数	羽	328	442	477	600	600	600	600			

	<u>市民ニーズの把握</u> く環境《対象や法令根拠	1及び社会環境	の変化(開始時期)	又は5年前との比	較)・市民からの意見や要望》						
【CHECK】事務事		リナー 行政の	英国は行动の処害は	☆ 日子宮切みの	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
N .					また印式の息向や社云の安韻がら兄と週切が?》 いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》						
性 図 適切である 価 見直しの分	3				Fが増大しており,市民からの苦情・要望が多く, 必要性						
 	余地 《成果は,昨年度 効果《全市民,または多				でなる成果向上ができるか?》 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
性評 ② 向上の余は			茨城県猟友会笠間 おり,大きな成果を		と有害鳥獣捕獲隊を編成し,有害鳥獣捕獲を実施して						
③事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》											
学		ずに人件費を削	減できないか?(業 	務プロセスの見直	近、個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》						
世 ☑ 削減の余地がない 有害鳥獣捕獲隊には少ない経費協力いただいており、事業費の削減の余地はない。											
一次評価結果			全体総括(振り返り	, 反省点)							
必要性 ✓	適切 見直しの	余地がある									
有効性	適切 見直しの	余地がある	有害鳥獣による被	害も増えており,	事業は継続して推進する。						
効率性 ✓	適切 見直しの 見直しの 見	余地がある									
【ACTION】事務事	耳業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の	課題や問題点	その他						
①改革・改善案			度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策						
	害のほとんどは農業被領)連携が必要になる。	臣			□ 影響は大きく、問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる						
					□ ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)						
②改革・改善案を	実現する上で克服する	(き) () () ()	od Nei		□他に手段がない						
課題と解決方法	まとんどが農政担当課で	(4) 収組	L状况 ————————————————————————————————————		□ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称						
管しており, 笠間市	方としても農政課で所管 公要があり, 農政課と協議	す			□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
行っていく。	- 5000				□ 統廃合や連携はできない・既に連携している						
【PLAN】事務事業	<u>の計画</u>				評価理由						
総合評価	今後の方向性	現行と	ごおり継続	農業等の被害も進める。	評価理田 増えており、必要な事業であることから継続して事業を						
	資源配分	現場	犬維 持								

I DI	4 N T T	古沙古光	ਨ≑! ਜ਼ੜ	事效事業:	正口.	10							Ers	2 ±17=111 b		上江力7世	環境保全課
[PL	.AN	事務事業の	り計画 ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事務事業	留万	12 ₹####		+	務事業性質	ř.	子が	45 中光		は は ままる こうしょう			
事務事業名 エコフロ				エコフロンティア対策事業			評価区分 事務事業性 重要事務事				義務的事業		後期基本計画 補		り打貨	省庁	
	争務	争耒石	エコノロンライノ	刈水争耒	的		業		安尹份尹末 計画実施計	-			里尽	况尽	単市	i 単独	
.6.0	-rl.	政策	4 自然と共生した	ナヘベウナーナル	ナフナナ	べくい 「仕)工作	العبدا		·計画美施計 新規•継続	囲					独		
	政策							開始年度	:	継続 終了年度				区補	i助率		
	体		2 廃棄物対策	てさしい相様生	さしい循環型社会をつくります						祁	十段			分		
	系		1 ごみ処理体	削の強化	期間				平成14年度 単		単年度繰返し		共催者·関係団体				
	_	会計	款	項		H		間	細目名		相引油	計画					
三			衛生費		エコフロンバ	ティアかさま対策費			口・口 イアかさま対策費事					の処理及び清掃に関す			トス辻浄
歩	中 儿		衛生費	清掃費		ティアかさま対策費			大振興整備基金積立3			実施手法		助金の			金の有無
		<u></u> 一般	衛生費			ティアかさま対策費			アかさま対策費事業(医			·部委託	Th	明め金の	7 行 邢	只15	金0万余
			円工員						美務内容及(度目標】	1	【車業	豊の内容	(決算額)】
			さまの建設に伴						敷設、浄化村			なし	又 日 示				(人) 員手当等
			也域振興事業を						が成いければ		旦、	1,40		24:	3川 703	, - 13、個 旅費 55	3千円、需
う。		<u> </u>			ノティアカ	さま監視す	員会	こ の	実施。	, _				用	費 356	3千円、季	三
また			を監視するため、	月										13,	692千	円、工事	請負費
1回	の監	:視委員会	を実施する。														財産購入
														費	474千	·円、負担	金補助及
					1105車	茶ぎ中				LIOC	中光言	1. rasi		U.			千円、積立
				同上	HZ5争	H25事業計画				事業語	計画		同上	HZ	7事業計	<u> </u>	
				11-1 -		11-1				Ind							
5	車終	事業の目的	りと手段														単位
0			JC 7-1X							(4)	<u> </u>	般市民					人
	① 太		F 2 - N	一般市民						対象		田地区世	出帯				世帯
目	(動き	きかける相手	ド・もの)	7.00						指標		,					
的	の車	汝市坐の音	:図(どのようにした	エコフロンティ い 業を行う。	アかさまの類	建設に伴って地	元還元	ことして		(5)		化槽補則					%
			・といっといったとうにした。 態にしたいのか)		環境を監視っ	するため、月1回]の監袖	見委員	会を実施す	成身		水道補則	力世帯割	J合			%
		0 - 2 - 2 - 2 - 10 (1)	E., - 0/C 7/7 /	る。						指標		71.Heli.H	I III III				111 -##
T .				+ 14 人 かっ	· ナレ ※	ロケッコムしゃゃゃ	orto	l-/		6	浄化槽補助			-			世帯
手段			するために実際に			路の改修等)監視委員会			活		f動 上水追補助		川世帝 毅				世帯
权	行っ	た行政活動	動(サービス)	次 5 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3071C0J0	/皿况女只云	·/ /	лE		指標	票						
[D	7]連	務事業の	主施														
_		及び指標の															
尹ラ	尺頁 /	又して旧信り	71出7岁														

	TDU】争務争系の夫旭																		
事	事業費及び指標の推移																		
事業費			単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	度(計画)		
			国庫支出金	千円															
投		財	県支出金	千円															
入	事	源内	地方債	千円															
コ	事業費	訳	その他	千円		96,155		148,681	1	.84,920	4	430,463	4	430,463	4	430,463		430,463	
スト	,	-	一般財源	千円		3,162		4,475	3,565		7,161		7,161			7,161		7,161	
_		事業費計(ア)		千円		99,317		153,156	1	.88,488	437,624		437,624		437,624			437,624	
イ			職員割合	人 千円	0.64	4,800	0.95	7,125	0.95	7,125	0.95	7,125	0.95	7,125	0.95	7,125	0.95	7,125	
ププ	人		時間外	千円															
ッ	件	嘱託臨時		千円															
7	費	他課の協力分		千円															
		人件費計(イ)		千円		4,800		7,125		7,125	7,125		7,125			7,125		7,125	
	トータルコスト(ア)+(イ)			千円]	104,117		160,281	1	95,613	4	444,749	4	144,749	2	144,749		444,749	
		扌	旨標区分	単位 22年度(実績)		23年度(実績) 24		24年度	年度(実績) 25年		25年度(目標)		26年度(目標)		27年度(目標)		ま(目標)		
活	浄イ	浄化槽補助世帯 †				94		100	102		110		115		120		125		
動	上ス	上水道補助世帯数 世帯				111		117		120		127		132		137		142	
指標																			
標																			
対	一角	股市.	民	人		79,409		78,862		78,279		78,279		78,279		78,279		78,279	
象指	福日	田地	区世帯	世帯		147		147		147		147		147		147		147	
標																			
成果指	浄イ	浄化槽補助世帯割合 %				64	68		69			75		78		82		85	
米岩	上ス	水道	補助世帯割合	%		76	6 80		82		86		90		93			97	
標	標																		

<u>社会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》												
笠間地区のごみ処理を担っているが、市民自己搬入が土曜日のみとなっている。												
【CHECK】事務事業の一次評価												
					また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
型 ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているでは、												
性 評 回 適切である 回 見直しの余			笠間地区の家庭か づき実施している。	笠間地区の家庭から排出される廃棄物の収集運搬及び処分を、一般廃棄物処理計画に基づき実施している。								
 	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか?》 有 4の果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか?》											
性 評 ② 向上の余地					乗物については、成果の向上は難しいところであり、資源 今後も継続していく。							
					直し,市民の協力など)》							
一	域余地 《活動量を下げ	ずに人件費を肖	リ減できないか?(業 ─	務プロセスの見直	正し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》							
性 評					双集運搬及び処分を実施しているが、時勢の影響等もあ 、一律的な削減は非常に困難である。							
一次評価結果			全体総括(振り返り	全体総括(振り返り, 反省点)								
必要性 ✓	適切 見直しの 見直しの 見	余地がある										
有効性 🗹	適切 見直しの会	余地がある										
効率性 ✓	適切 □ 見直しの会	余地がある										
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の記	課題や問題点	<u>-</u> その他							
①改革•改善案		③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響							
					の有無とその対策 □ 影響は大きく、問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる							
②改革・改善案を写 課題と解決方法	実現する上で克服する/	べき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1状況		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)□ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)							
					名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している							
【PLAN】事務事業の計画												
今後の方向性現れ			ごおり継続		評価理由							
総合評価	資源配分	現場	犬維 持	現事業を継続していく。								

大旭时间"事份事未叮叫六旭则官"																	
[PLA	<u>an</u>	事務事業の	の計画		事務事業都	<u> 番号</u>	13						所从	属部課名	市民生	:活部第	環境保全課
				tota to-to			評価区分		事務事業性生		義務的	的事業		後期基本計画		所管	省庁
事	事務事業名 墓地管理事務		務			評価外事業		重要事務事		-		重点	視点	助単			
I tria							総	合計画実施語			<u> </u>			独			
	政	政策	1 11				づくり〔生活環境		新規·継続		継続				区補助	力率	
合分	策	小政策			、、潤いのあ	る生活現	環境を整えま	す業		度	終了年度				分	J —	
	体	施策						*			単年度	F繰返し	共催者	貨•関係╚	ff体		
画	_		2 墓地の適正管理				→	間				•	/ \	1 124 11.			
予		会計	款		項		目		細目名			計画	- 보도 나타 - 11	m ## ///r) ~	・ロロートフン	上油	
算	4			-								L法令 *******		里葬等に			トヘッナ年
科目				-							実施手法		1	補助金の)有無	負担	!金の有無
		な古光の人	11年11年11年11年11日11日	어 무 및 1	~ 『 1104声	*****	(テ) ~ 和 小 丰	*) * / Z	· ╨ᅏᆉᅜᄁ	7NT.		直営	空口插	1 4	「中光曲	の中位	- (油 / 本 / 五) 【
			体概要及び				(主に担当者	が行り) 業務内容及	ひ子	順)】		度目標		事業質	の内容	ド(決算額)】
			で部地区に民 れているほか		墓地経営0) 週上作	4專計刊					基地経 指導許	営の適	止			
			れているほか									11年訂	- HJ				
草州	ひろっ	可尻差地で 利用されて	「吊1エック/))	7九1天													
2570	77√1	11)11C40 C	√ "₀o														
					H25事業計画						事業記					事業計	
					墓地経営の適正指導許可墓地経営						の適正指導許可 墓地経営の適正指導						許可
5 事	爭務	事業の目的	りと手段														単位
Ť		7 717 111								4	墓:	地数					箇所
1		け象 きかける相目	T. + (7)		墓地管理者	•所有者				対象	熱 納	骨堂					箇所
日日	脚で	- 日本の ()・(()・	F•600)							指標	票 火	葬場					箇所
的。	の車	※車業の音	て図(どのように	-1 1-1.	古地の怒労	ルの奴骨許可になる。マ 東西の動力の田辺標序						可件数					件
			態にしたいのだ		差地の経営 に配慮したi			:0/男川円	「一門四界界	成身							
	214	0 C J V J V V	E(CO/C,,	<i>y</i>	(CDD//EVO/CV	回 24.2.15	母で1170			指標		- 1- 1-1 M/					r.l
-										(6)	相	談件数					件
手段	3) F	的を達成で	するために実	ミ際に	墓地経理の	適正許可	ī]			活動							
段月			動(サービス)							指標							
" DO	1#	マケナ米のた	++ +-/														
_		務事業の															
事業	費	及び指標の															
事業費単位			単位	22年度	と (実績)	23年度(実統	績) 24	年度(実績)	25年	度(計	画) 26	年度(計	一画) 27年	年度(計	画) 28	年度(計画)	
		国庫	三支出金	千円	J												
1 л.		財県	支出金	千円	-	-											
投.	+	ों स	7														

【DU】事務事業の美旭											
事業費及び指標の推移											
			単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)	
		国庫支出金	千円								
	財	県支出金	千円								
事	(次)	地方債	千円								
未費	訳	その他	千円								
		一般財源	千円								
		事業費計(ア)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		職員割合	人 千円	0	0	0.02 150	0.02 150	0.02 150	0.02 150	0.02 150	
人		時間外	千円		·					·	
件	嘱託臨時		千円								
費	他課の協力分		千円								
			千円	0	0	150	150	150	150	150	
トータルコスト(ア)+(イ)		千円	0	0	150	150	150	150	150		
	抖	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
相認	炎件	数	件			15					
墓地	也数		箇所			1,212					
納骨堂 箇所		箇所			1						
火葬場 箇所		箇所			1						
許可件数		件			3						
成計可件数果指											
	事業費 人件費 卜 詞 墓 術 火	事業費 人件費 卜 相 墓納 火 費場	事業費 国庫支出金 県支出金 地方債 での他 一般財源 事業費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業費 単位 事業費 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 七の他 千円 一般財源 千円 事業費計(ア) 千円 事業費計(ア) 千円 時間外 千円 他課の協力分 千円 人件費計(イ) 千円 上中費 1年 上中費 1年 上中費 1年 上中費 1年 日談件数 1年 日談件数 1年 日本 1年 <t< td=""><td>事業費 単位 22年度(実績) 事業費 再支出金 千円 財源内部 手円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 事業費 財源 大円 県支出金 千円 地方債 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 事業費 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(ア) 千円 時間外 千円 他課の協力分 千円 人件費計(イ) 千円 0 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 0 0 指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 相談件数 件 15 墓地数 箇所 1,212 納骨堂 箇所 1 大葬場 箇所 1</td><td>事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(計画) 事業費 財源 県支出金 千円 場支出金 千円 場別 1 地方債 千円 日本の他 1 一般財源 千円 0 0 0 事業費計(ア) 千円 0 0 0 0 時間外 千円 0 0 0 0 0 時間外 千円 0 0 150 150 上一夕ルコスト(ア)+(イ) 千円 0 0 150 150 指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(目標) 相談件数 件 15 藍地数 箇所 1,212 納骨堂 箇所 1 大葬場 箇所 1</td><td> 事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(計画) 26年度(計画) 26年度(14年度(14年度(14年度(14年度(14年度(14年度(14年度(14</td><td>事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(計画) 26年度(計画) 27年度(計画) 事業費 財原</td></t<>	事業費 単位 22年度(実績) 事業費 再支出金 千円 財源内部 手円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 事業費 財源 大円 県支出金 千円 地方債 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 事業費 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(ア) 千円 時間外 千円 他課の協力分 千円 人件費計(イ) 千円 0 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 0 0 指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 相談件数 件 15 墓地数 箇所 1,212 納骨堂 箇所 1 大葬場 箇所 1	事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(計画) 事業費 財源 県支出金 千円 場支出金 千円 場別 1 地方債 千円 日本の他 1 一般財源 千円 0 0 0 事業費計(ア) 千円 0 0 0 0 時間外 千円 0 0 0 0 0 時間外 千円 0 0 150 150 上一夕ルコスト(ア)+(イ) 千円 0 0 150 150 指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(目標) 相談件数 件 15 藍地数 箇所 1,212 納骨堂 箇所 1 大葬場 箇所 1	事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(計画) 26年度(計画) 26年度(14年度(14年度(14年度(14年度(14年度(14年度(14年度(14	事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(計画) 26年度(計画) 27年度(計画) 事業費 財原	

社会情勢の変化・市民ニーズの把握												
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》												
[C	【CHECK】事務事業の一次評価											
必						また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
必要は		7整合性,対象と意図の) 妥当性《目的	(対象と怠凶)は総合	計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》						
性評	□ 適切である											
価	□ 見直しの余	地がある										
	③成果の向上	 余地 《成果は, 昨年度	と比べてどうでな	あったか?工夫をす	- ることで今後, 更	なる成果向上ができるか?》						
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他			施策への波及効果	具があるか?》							
性評	□ 向上の余地	上がない										
価	 □ 向上の余地	れがある										
			デポに車業费を	知減できないか?(/	仕様 や 工 注 の 目	直し,市民の協力など)》						
効率						正し、「IICくの場がなど)》 正し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》						
性			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 		3-1-							
評価												
	□ 門倣♡フ赤」	型がめる		A HIAN IT (IP) A VP)	- (12 L)							
<u> </u>	次評価結果	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	A 14. 28. b - y	全体総括(振り返り	,反省点)							
	必要性	適切 」見直しの	余地かある									
	有効性	適切 □ 見直しの	余地がある									
	効率性 🗌	適切 見直しの	余地がある									
[A	CTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	-アップ 前年度の詞	果題や問題点	その他						
	改革・改善案		3前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響						
						の有無とその対策						
						□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる						
						Trans (Agreement Charles Control Contr						
						⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動						
						も含む)						
		実現する上で克服する	^{べき} ④取組	小		□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)						
課	題と解決方法			1/1/L								
						名称						
						□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している						
[P	LAN】事務事業の	の <u>計画</u>				評価理由						
		今後の方向性				11 間でまた						
	総合評価											
		資源配分										